

# 製造業の補助金

企業の人材確保が厳しさを増す中、中小企業には労働生産性の向上が求められている。経済産業省中小企業庁は中小の省力化投資を後押しするため、「中小企業省力化投資補助金」を創設し、今年6月に申請受け付けを始めた。ここでは同補助金について紹介する。

## 中小の省力化後押し 投資補助金

### 3年500億円、A4「1枚」で応募

企業庁は中小の省力化投資を促す「中小企業省力化投資補助金」の申請を、随時受け付けている。多くの産業で人手不足が深刻化する中、同事業を通じて中小への設備投資を促す。同補助金はIoT(モノのインターネット)やロボットの導入、人手不足解消に効果がある汎用製品をカタログに掲載。中小は導入したい設備をそこから選択

図1 補助対象経費

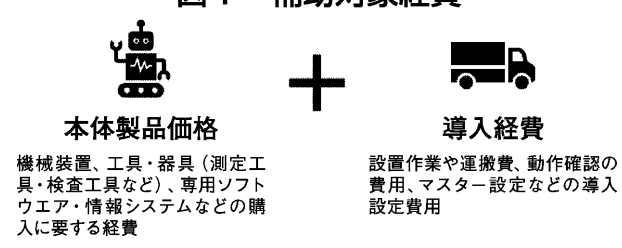


表1 補助対象者

人手不足に悩む中小企業など  
主な要件  
・中小企業などであること(個人事業主含む)  
・人手不足の状態にあることが確認できること  
・本事業の要件に合致する補助事業であること

図2 他の補助金と比較した特徴

本補助金	他補助金との比較
事業計画書などに1枚程度について、A4 1枚程度の説明のみ	A4 10-15枚の事業計画書
1カ月程度	他補助金では3カ月程度の審査期間が発生
カタログ型につき、不要(採択と交付決定が同時)	見積り取得に1-2カ月、審査に1カ月程度
在庫がある場合、1カ月程度で購入・設置が完了	平均6カ月
簡便な提出書類(契約書・納品書・請求書・銀行振込の証憑など)のみ	1カ月 30-50ファイルの支払書類など確認
精算請求・支払	変わらず

表2 補助率と補助上限額

従業員数	補助率	補助上限額	補助事業実施期間中に一定以上の賃上げを達成した場合※
5人以下	2分の1	200万円	300万円に引き上げ
6-20人		500万円	750万円に引き上げ
21人以上		1000万円	1500万円に引き上げ

※補助上限額の引き上げを適用する場合、事業終了時に①給与支給総額を6%以上増加させ、かつ②事業場内最低賃金を45円以上上げる計画を策定し申請する必要がある

表3 補助対象製品のカタログ

清掃ロボット 配膳ロボット 自動倉庫 検品・仕分けシステム 無人搬送車(AGV) スチームコンベクションオープン 券売機 自動チェックイン機 自動精算機 タブレット型給油許可システム オートラベラー	飲料補充ロボット デジタル紙面色校正装置 測量機 丁合機 印刷用紙高精装置 インキ自動計量装置 段ボール製箱機 近赤外線センサー式プラスチック材質選別機 デジタル加飾機 印刷紙面検査装置 鋳物用自動バリ取り装置
---	---

2024年9月3日現在

## 企業庁、カタログ充実図る 全国で説明会

カタログには製造業のほか、倉庫業、卸売業、飲食サービス業、印刷業などの業種を対象にした製品が登録されている。9月3日時点でカタログに登録された製品は22件、登録品数は149件(表3)。製品カテゴリーは随時追加される予定だ。製造業を対象としたカテゴリーは清掃ロボット、配膳ロボット、自動倉庫、無人搬送車(AGV)、丁合機、検品・仕分けシステムなどがある。今月、新たに鋳物用自動バリ取り装置が追加された。鋳物製造業向けに、鋳造工程で発生する鋳物の突出部やバリを除去する自動化装置だ。これまでライナーを用いて手作業で行っていたバリ取り作業の工数を削減し、省力化につながる。

## 省力化メーカーに商機

省力化につながる製品を製造しているメーカーや販売業者にとっては、カタログ掲載がビジネスチャンスにつながる。自社製品の製品カテゴリーがカタログに掲載されたら、指定された工業会に製品登録申請をして、扱った製品が省力化に資するかなどの審査を受ける。承認を得られれば、証明書を発行される。事務局は8月にカタログ登録サポートセンターが設置された。同センターでは、省力化製品のメーカーや製品カテゴリーの登録に関する工業会、申請者、販売業者などの相談を受け付けている。サポートを通じて、製品カテゴリーの充実を目指す。

## 中小企業基盤整備機構

中小企業基盤整備機構は「中小企業省力化投資補助金」を推進する。中小企業などは同補助金を活用して、人手不足解消に効果のある「省力化製品」を導入できる。対象製品リスト(カタログ)に登録された省力化製品の中から、自社の課題に合わせて製品を選択する。補助金申請は販売事業者が共同申請などサポートを行うことで、簡易で即効性のある省力化投資が可能。いつでも申請でき(随時公募)、またカタログも充実しつつあり、より使いやすくなっている。合わせて、省力化製品に関わるメーカー、工業会、販売店なども随時募集中。詳しくは省力化補助金ホームページへ。

## 産ロボ パッケージ型に道



ロボットの中でもパッケージ製品はカテゴリー登録しやすい

## 産ロボ

生産現場の省力化には、ロボットの活用が有効だ。カタログに掲載されているロボットのカテゴリーは①清掃ロボット②配膳ロボット③飲料補充ロボット④の三つのサービスロボットとなっている。産業用ロボットがカタログに掲載されていないのは、産ロボが単体では使えないことが理由に挙げられる。企業庁は当初スタンドアロンでシステム構成要素がないものを対象としていた。また普及率が著しく高くないものを要件としている。日本ロボット工業会(ロボ工)の矢内重事務局長は「溶接や塗装、組み立てなど既存のロボット用途はシステム構成要素がある上に普及率が高く、カテゴリー化は難しいと判断していた」と話す。しかし産ロボがカテゴリー化できない訳ではない。矢内氏は「パッケージ製品であればスタンドアロンの要素がある。例えば安全柵の中にロボットが組み込まれたパレイザーなどがある」という。成形機の上に取り付け、成形品を取り出すロボットも周辺装置が少なすぎたスタンドアロンの要素がある。だが「成形品取り出しロボットはすでに普及している」(矢内氏)。ロボットは今後、どの範囲までのロボットが補助対象に該当するか企業庁と調整していく考えだ。前述の3カテゴリー以外のカテゴリー登録の要望もロボ工に寄せられており、カタログ掲載に向けて取り組んでいる。



18-20日に開催されたJapan Robot Weekでは、ブースに多くの人が訪れた

## ●日刊工業新聞社3展示会 相談会・セミナー開催

省力化補助金事務局は日刊工業新聞社主催の3展示会に出展する。ブースでは事前予約が要らない無料のミニセミナーと個別相談会などを実施。人手不足に悩む中小企業や省力化製品のメーカー、工業会、販売店などの相談も受け付ける。出展予定の展示会は、10月16-18日にマリンメッセ福岡(福岡市博多区)で開催する「モノづくりフェア」、11月13-15日にインテックス大阪(大阪市住之江区)で開催する「未来モノづくり国際EXPO」、11月20-22日にポートメッセなごや(名古屋市中区)で開催する「名古屋プラスチック工業展」。

# 中小企業 省力化投資補助金セミナー開催

2024 省力化投資補助金 説明会 Be a Great Small. 中小機構

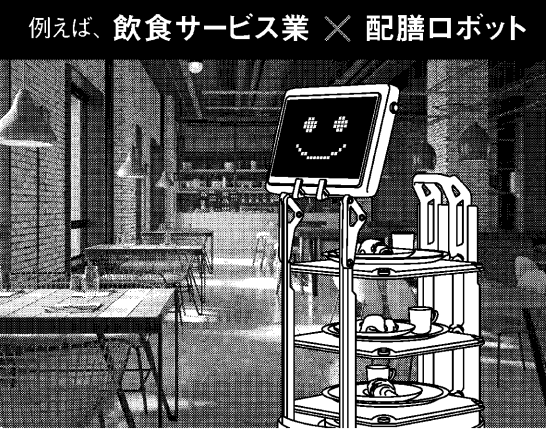
中小企業の人手不足解消に効果のある「省力化製品」を導入するための補助金を、わかりやすく解説する説明会と、個別相談会を47都道府県で開催中です。

開催時間	新潟	山梨	長野	茨城	栃木
13:30~15:30 【開場】13:00	9月24日 火 会場 朱鷺メッセ 国際会議室	9月25日 水 会場 山梨県地産産業センター「かいてらす」大ホール	9月26日 木 会場 JA長野県ビル アクティール	9月27日 金 会場 水戸プラザホテル ボールルーム	9月30日 月 会場 ベルヴィン宇都宮 ヴァークテリス
セミナー終了後に個別相談会あり	群馬	千葉	神奈川	埼玉	
	10月1日 火 会場 前橋商工会議所会館 サクラ	10月2日 水 会場 三井ガーデンホテル千葉 3階「平安」	10月3日 木 会場 ロイヤルホール横浜 ヴェルサイユ	10月4日 金 会場 TKP大宮ビジネスセンター パンケットホール1A	

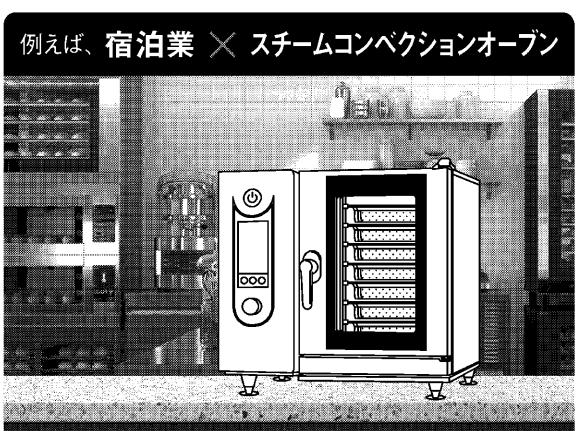
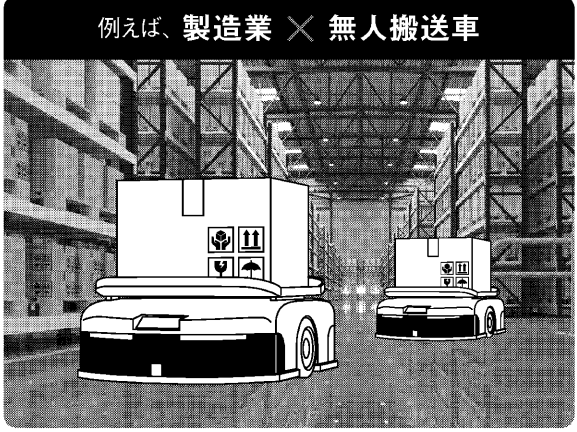
入場無料! 関東甲信越を皮切りに12月まで全国で開催!

中小企業省力化投資補助金とは、人手不足解消に効果があるロボットやIoT等の製品を導入するための経費を国が補助することにより、簡易で即効性がある中小企業の省力化投資を促進し、売上拡大や生産性向上を図るとともに賃上げにつながることを目的とした補助金です。  
●対象製品のリスト(カタログ)に登録された省力化製品から、自社の課題に合わせて製品を選択できます!  
●「販売事業者」が製品の導入を支援! 申請・手続もサポートします。  
●補助率は1/2! 補助上限額は従業員数ごとに異なります。

全都道府県に、インフォメーション窓口を設けています。詳しくは右記ホームページをご確認ください。 本補助金の詳細や対象製品のリスト(カタログ)、公募要領などはこちらから



補助対象製品の カテゴリ



▶清掃ロボット ▶配膳ロボット ▶自動倉庫 ▶検品・仕分けシステム ▶無人搬送車(AGV・AMR) ▶スチームコンベクションオープン ▶券売機 ▶自動チェックイン機 ▶自動精算機 ▶タブレット型給油許可システム ▶オートラベラー ▶飲料補充ロボット ▶デジタル紙面色校正装置 ▶測量機 ▶丁合機 ▶印刷用紙高精装置 ▶インキ自動計量装置 ▶段ボール製箱機 ▶近赤外線センサー式プラスチック材質選別機 ▶デジタル加飾機 ▶印刷紙面検査装置 など

お問い合わせは、本補助事業コールセンターまで  
あらかじめ下記ホームページに掲載資料や「よくあるご質問」をご確認のうえ、お問い合わせください。  
ナビダイヤル 0570-099-660 IP電話などから 03-4335-7595  
省力化製品に関わる工業会・製造事業者・販売事業者のみならず  
カタログ登録サポートセンター 03-6746-1530 でご相談受付中!  
●受付時間: 9:30~17:30/月曜~金曜(土・日・祝日除く)  
※通話料がかかります。恐れ入りますが、繋がらない場合は、しばらくたってからおかけ直しください。

本補助事業ホームページ <https://shoryokuka.smr.go.jp/>